

(株)フクイカメラサービス

集荷依頼 ネットで楽々

フクイカメラ (福井) 国内初サービス

システム開発、販売へ

運送大手と提携 契約1万社目標



ウェブ上で運送業者に集荷を依頼できる「ハイシューカ!」の画面

カメラ修理のフクイカメラサービス(本社福井市江端町、高山陽一社長)は、大手運送業者と提携し、ウェブ上で手軽に集荷依頼できるシステムを開発、11月から外販を始める。リサイクル業者や修理業者など品物の引き取りニーズがある企業を照準に3年で1万社との契約を目指す。ウェブ上での事業者向け集荷サービスは国内初という。(宇野和宏)

同社は、デジタルカメラの修理受け付けサイトを2011年8月から展開。顧客から修理依頼を受けると、社内でデータ入力の上、運送会社にカメラの引き取りを依頼していた。ただ、集荷依頼の処理に人的コストがかかる上、入力ミスのリスクもあった。そこで、顧客からの修理申し込みが、提携する運送会社のパソコンに直接送信されるシステムを構築。自社用に開発したものであったが、煩わしい集荷業務に頭を悩

ませている企業は多いと判断、事業化を決めた。集荷サイトの名称は「ハイシューカ!」。企業は集荷サイトのアドレスを自社のホームページに張り付ける。顧客が物品の集荷を依頼するとフクイカメラのドライバーを通じて、提携先のヤマト運輸が佐川急便の受け付けシステムに転送される。

午後10時までに集荷依頼すれば1年365日、全国規模で翌日の集荷が可能。オプションで当日集荷も対応する。料金は初期費用が3万1500円、月額基本料が1万5000円(1年契約)。高山社長は「自社で同じようなシステムを開発すれば数百万円の費用がかかる。『365日24時間、集荷受け付け』という独自サービスで他社と差別化を図れる」とメリットを強調している。フクイカメラは国内外

のカメラメーカー8社の修理認定店となっており、年間修理台数は約7万台で業界最多という。